

六輪歩行器 ムーンウォーカー

KW-MFX シリーズ



取扱説明書



目次

安全に関するご注意	1
1. 製品の特徴、使用目的	4
2. 同梱部品の確認	4
3. 各部の名称	5
お使いになる前に	6
4. 操作方法および使用方法	7
5. お手入れの方法	9
6. 保管についてお願い	10
7. 歩行器の保守、点検	10
8. 仕様	11
9. 材料・材質一覧表	12
10. 製造番号	13
11. 保証とアフターサービス	14

このたびはカワムラサイクルの歩行器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法
が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードして
いただけます (<http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm>)。

ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯していただくか、
必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。







株式会社 **カワムラサイクル**

安全に関するご注意 ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

正しい取り扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

警告



この製品は、歩行器です。それ以外の用途には使用しないでください。

坂道や傾斜のあるところでの使用には適していません。

屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。

倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座面部以外に座らないでください。

転倒または壊れてケガをする恐れがあります。

歩行器に座った状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行器が転倒し危険です。

歩行器を火気に近づけないでください。

シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。熱湯消毒についても同様です。



勝手に改造・分解しないでください。

強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。

警告

複数の人数で使用しないでください。
この歩行器は、一人用です。破損・事故の原因となります。

歩行器に座る際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて歩行器が固定されていることを確認してください。

ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

介助者は、絶対に歩行器に乗って介助しないでください。

歩行器を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

傾斜地での走行は、歩行器が予想外の方向に進むなど、大変危険です。

段差の前では一旦停止して前輪を持ち上げて乗り越えてください。決して勢いをつけて乗り越えないでください。
大変危険です。また、フレーム及び車輪等の損傷を受けます。

大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

踏み切りでは使用しないでください。

坂道や傾斜のあるところで駐車ならびに座らないでください。
安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。
傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行器が動く場合があります、大変危険です。
滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行器が動く場合があります。

雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。
車輪のサビ等により故障の原因になります。

可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。

車いすとして使用される際は、座面にうまく座れない（お尻がすべる・座位保持困難等）場合は、ご使用をお避けください。また車いすとしての長時間の使用には適しておりません。



禁止



必ず守る

道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

注意



走行する際には片手で操作しないでください。

傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

座面には立たないでください。転倒の恐れがあります。

下記のようなところに歩行器や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ
 - ・人通りのあるところ
 - ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・湿気の多いところ
 - ・雨風の当たるところ
 - ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
 - ・直射日光の当たる場所(車内も含む)
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・雨・風のアたる場所
 - ・子供がいたずらをする恐れのある場所
 - ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・坂道
 - ・暑い日や寒い日の戸外
- 事故やサビ・破損の原因になります。



肘掛け高さ調節ネジ、押手高さ調節ネジは、確実に締め付けてあるか確認してください。

肘掛けは、必ず左右同じ高さにしてください。

ブレーキは必ず手で操作してください。

回転している車輪に指等を差し込まないように注意してください。

次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。

- ・エスカレータ
- ・階段
- ・坂道
- ・ぬかるみ
- ・交通量の多い道路
- ・踏み切り
- ・防止柵のない側溝や路肩付近など
- ・凹凸の激しい道
- ・夜間、雨や雪、風の強い日
- ・凍結路
- ・深い砂利道や砂道
- ・その他危険が予想される場所

夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。

発進するときや段差を乗越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。

斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で発進すると段差を乗越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

認知症(痴呆症)の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

また、歩行器の部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、十分ご注意ください。

肘掛けを上下される際に、手をはさまないようにご注意ください。

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

1.製品の特徴・使用目的

この商品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行器です。

肘掛け高さを調整できます。

疲れたときには、座面に座って休むことができます。

介助用車いすとしても使えます。

2.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

- ・ 取扱説明書（保証書はがき）

3.各部の名称



全体図

押手

高さを3段階で調節できます

肘掛け

高さを7段階で調節できます
(Sサイズは6段階)

肘掛け(前もたれ)

開閉式です

ステップ

歩行時には上方向にたたんでください。

前後輪(キャスト)自由に方向転換できる小車輪です

中央輪

6輪の場合、主輪となります

座面シート

折りたたみができます

背もたれ

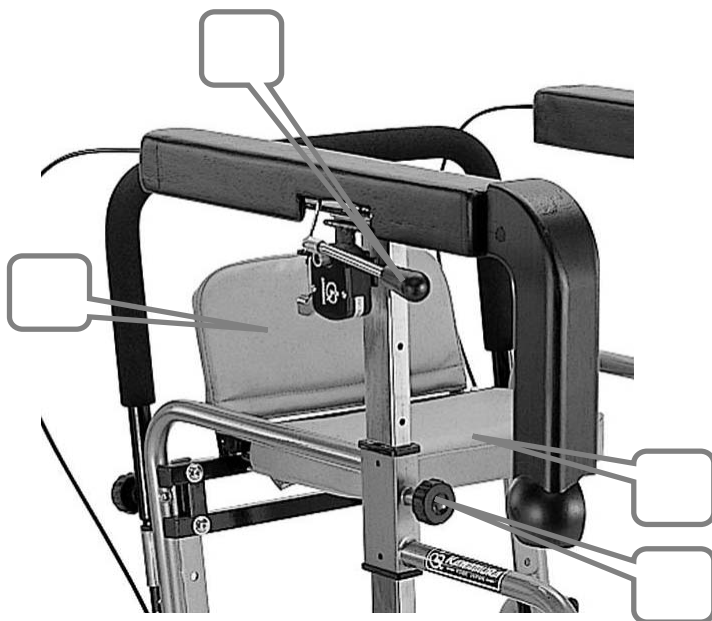
背部が寄りかかる場所です

ブレーキレバー

肘掛け高さ調整ノブ

押手高さ調節ノブネジ

座面高さ調節ネジ



肘掛け部分拡大図



後ろから見た図

お使いになる前に

歩行器を使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。

装着品の確認

- ・ 押手はしっかりと固定されていますか？

肘掛けの確認

- ・ 肘掛け高さ調整ノブはしっかりと締められていますか？
- ・ 肘掛けの高さは左右同じですか？

ブレーキの確認

- ・ ブレーキが正しく作動しますか？
- ・ ブレーキをかけた状態で駆動輪が回転しませんか？

車輪

- ・ しっかりと固定されていますか？
- ・ スムーズに回転しますか？

押手

- ・ 押手高さ調整ノブネジはしっかりと締められていますか？

ステップ

- ・ ステップがパタパタしませんか？

全体的に

- ・ ガタつきはありませんか？
- ・ まっすぐに走りますか？
- ・ 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ ワイヤーが部品等に引っかかっていませんか？

万が一、ケガや事故が起きた際には、早急に弊社へご連絡ください。
(連絡先は、裏面にございます。)

消費生活用製品安全法の改訂により、製造メーカーは被害を拡大させないためにも早急な対応が求められております。

4.操作方法および使用方法

肘掛けの操作方法

< 高さ調節の仕方 >

肘掛け高さ調整ノブを引っ張り、片手で肘掛け部を持ちながら肘掛け部を上下にさせると、7段階（Sサイズは6段階）に高さを調節することができます。



⚠ 注意

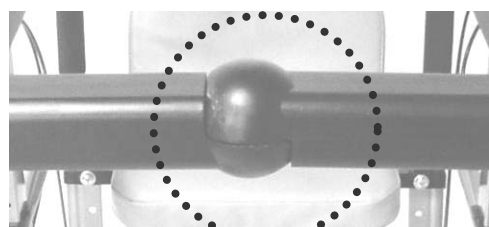
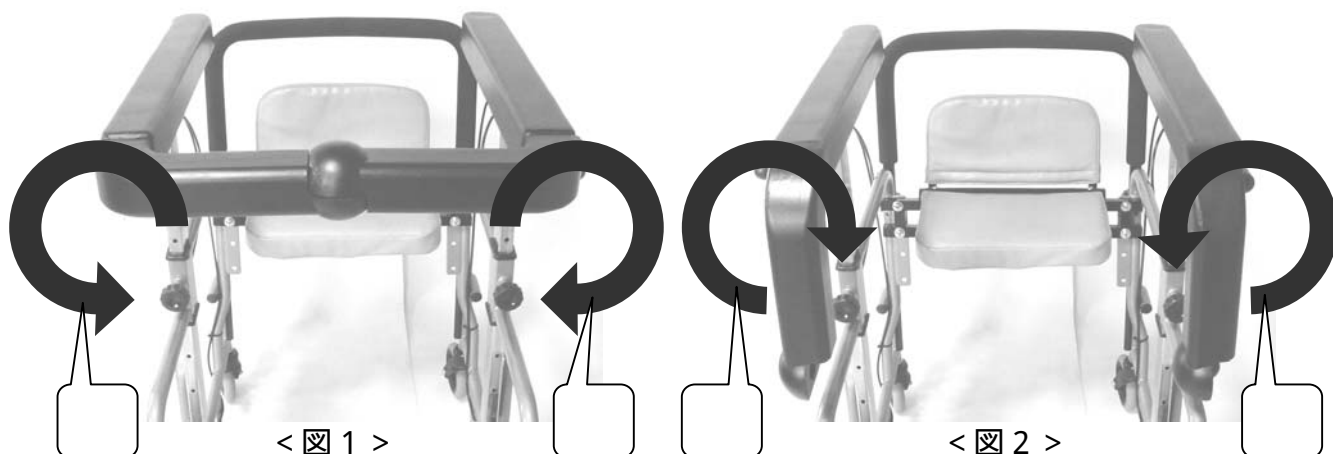
『カチッ』と音がして肘掛けがしっかりと固定されていることをご確認ください。
左右同じ高さに調節してください。
左右の取付位置が異なると、バランスを崩す恐れがあります。

肘掛け（前もたれ）の操作方法

< 開閉の仕方 >

の順でまわすと開き<図1>、 の順でまわすと閉まります<図2>。

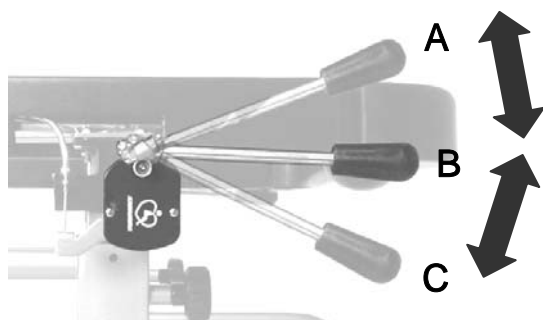
ご利用の際は肘掛けを必ず閉めてください。



< 図3 >

しっかりと固定されていることをご確認ください<図3>

ブレーキの操作方法



ブレーキレバーを上方（A の位置）に引くか、下方（C の位置）に押しとブレーキがかかります。ブレーキレバーを中央（B の位置）に戻すとブレーキは解除されます。
〔ブレーキレバーが中央（B の位置）にある場合は解除されています。〕

注意

乗降時は必ずブレーキをかけてください。

座面高さ調節の仕方

座面下部の M8 ボルトを 4 本取り外し、取り付け位置を変えることにより 3 段階の高さ（50cm、55cm、60cm）の調節が行えます。

〔S サイズの座面高さは 50cm のみで取り付け位置を変更できません。〕

調節については、専門業者に作業をお願いしてください。

注意

調節については、必ず専門業者に作業をお願いしてください。
調節の際は、ネジがしっかり締まっているか、ご確認ください。

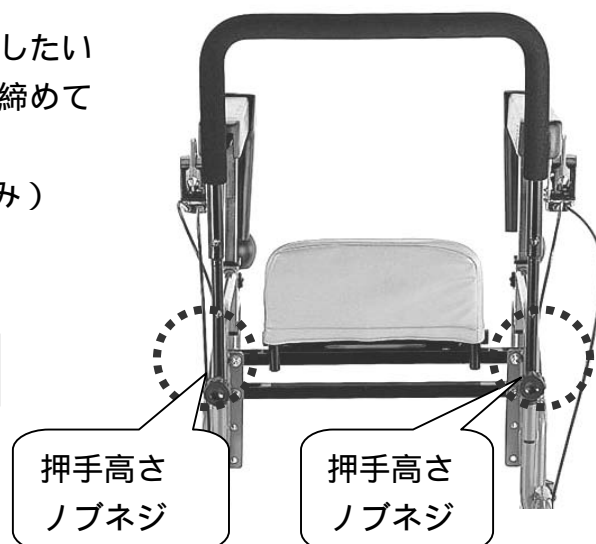
押手高さ調節の仕方

ノブネジをまわして取り外し、押手パイプを設定したい高さにあわせませす。高さをあわせたらノブネジを締めて固定します。

押手は 3 段階の高さ調節が可能です。（10cm 刻み）

注意

高さ調節後はネジを確実に締めてください。



ステップの使用方法

歩行器としてご使用の場合はステップを上げてください。
車いすとしてご使用の場合はステップを下げてください。

不要なときは、跳ね上げると足元のスペースが広がります。



こんな使い方ができます（使用イメージ）

自立への勇気ある一歩をお手伝いします。



肘掛けに体重をかけて



座面を利用して



介助用車いすとして

5.お手入れの方法

金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

樹脂（プラスチック）部

樹脂（プラスチック）部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

⚠ 注意

シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。

たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

🚫 禁止

熱湯やオゾンで洗浄しないでください。故障・変質・変色の原因となります。

6. 保管についてのお願い

歩行器は安全な場所に保管してください。



下記のようなところに歩行器や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ ・人通りのあるところ
 - ・路面に段差や凸凹のあるところ ・湿気の多いところ
 - ・雨風の当たるところ ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
 - ・直射日光の当たる場所(車内も含む)
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・ほこりの多い場所 ・雨・風のアたる場所
 - ・子供がいたずらをする恐れのある場所 ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・坂道 ・暑い日や寒い日の戸外
- 事故やサビ・破損の原因になります。

7. 歩行器の保守、点検

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。

ブレーキはしっかりききますか？

ブレーキの取り付けネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどがいないかご確認ください。もし異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店が当社までご連絡ください。

変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。キャスタ車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理不可能な場合はお買い上げの販売店が当社までご連絡ください。

押手はしっかり固定されていますか？

押手の高さを調整する部分のネジがしっかり締まっているかをご確認ください。ネジが緩んでいるとぐらつきます。ネジが外れて座面がぐらついたり、外れたりすると大変危険です。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。

ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店が当社までご連絡ください。

洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

強いオゾンによる消毒は避けてください。変色や劣化等の原因となります。また、洗浄後は乾燥させてください。カビやサビの原因になります。

ワイヤーは切れていませんか？

ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。ワイヤーは安全のために1年に1度交換してください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

⚠ 注意

スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

8.仕 様

(in:インチ)

品名・名称	標準仕様・規格		
	KW-MFX-S	KW-MFX-M	KW-MFX-L
肘掛け高さ (mm)	620 ~ 1,010 (7段階)	720 ~ 1,110 (7段階)	
肘当て内幅 (mm)	360	420	480
座面高さ (mm)	500	500・550・600 (3段階)	
座面サイズ (mm)	幅 300x 奥行き 190		
全 幅 (mm)	590	650	710
全 高 (mm)	750・850・950 (3段階)	850・950・ 1,050 (3段階)	850・950・ 1,050 (3段階)
全 長 (mm)	830		
重 量 (kg)	15.7	16.5	16.6
フレーム形式	折畳み無し 固定式		
前後車輪	5in ソリッドキャストパッキン式		
キャスト車輪	5in ソリッドキャスト車輪		
ヨーク	5in パッキン式ヨーク		
中央車輪	8in ソリッド車輪		
座シート	跳ね上げ式		
駐車ブレーキ	A-MFX. MFX用ブレーキ		

記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

地球の環境保護のため、
廃棄するときにはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

9.材料・材質一覧表

KW-MFX / KW-MMX

【 】：表面処理

フレーム	フレーム	主要フレーム	スチール
		表面仕上	溶剤型塗料使用
		溶接材料	ロー棒
部品	前輪&後輪	タイヤ	天然ゴム,スチレン・ブタジエンゴム
		ホイール	ポリプロピレン
		ヨーク	ナイロン,グラスファイバー
		キャスト軸	スチール【亜鉛メッキ】
		ベアリングオイル	グリース
	中央輪	タイヤ	ポリプロピレン
		ホイール	ポリプロピレン
		車軸	スチール【亜鉛メッキ】
		ナット	スチール【亜鉛メッキ】
		ベアリングオイル	グリース
	シート類	表地	ポリ塩化ビニル (RoHS 対応)
		芯	木(合板)
		ベルクロ	オス(ナイロン) メス(ナイロン)
		糸	綿,ポリエステル
		背もたれチューブ	ポリウレタン
	肘当て	クッション部	ポリウレタン
		中芯	スチール
	レッグサポート	ステップ板	ナイロン,グラスファイバー
	ブレーキ	レバー	ステンレス
		グリップ	天然ゴム
本体部		ステンレス・ポリプロピレン	
アウターワイヤ		ポリ塩化ビニル	
インナーワイヤ		スチール【亜鉛メッキ】	
梱包材	梱包材	外箱	ダンボール
		内袋	ポリエチレン
		テープ	ポリプロピレン

10.製造番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号は左フレームに貼り付けられています。

車 種	
製 造 月	年 月

<シール貼付位置>

左フレームに貼付

****年 **月
株式会社 **カワムラサイクル**



車種名

11.保証とアフターサービス

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

保証書

この商品には保証書を別途添付しております。

返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。

ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

保証期間

お買い上げ日より 1 年間（消耗部品は含みません。）

保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

消耗部品

- ・車輪
- ・ベアリング
- ・キャスター
- ・座面シート
- ・ワイヤー
- ・肘掛け（前もたれを含みます）

保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- (d) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (f) 一般に歩行車が通行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (g) 製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
- (h) 取扱説明書に従わずして生じた故障破損
- (i) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (j) 保証書をご返送いただいていない未登録の製品
- (k) 日本国外でご使用の場合

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。
一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

地球の環境保護のため、廃棄するときにはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場			

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。